

第2学年生活科学学習指導案

さいたま市立鈴谷小学校

平成22年5月22日（土） 第2校時
 活動場所 ホール
 在籍児童数 男子34名 女子37名 計71名
 授業者 棚田恵美 藤本佳宗 阿佐見祐子
 支援獣医師8名（さいたま市獣医師会）

1 単元名 生きものをかおう

2 単元について

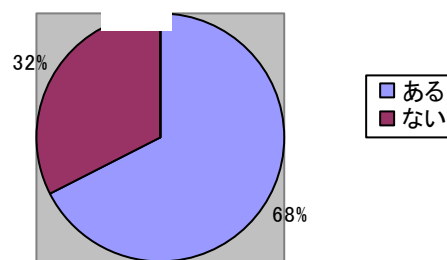
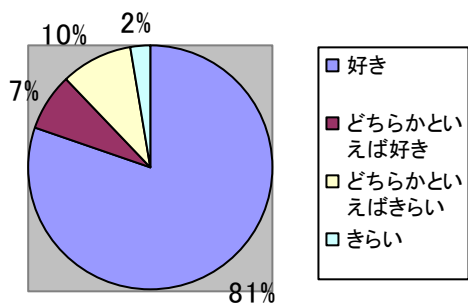
(1) 児童の実態

本校は南与野駅の近くに立地しており、国道に面していることで車通りも多い反面、学校の東西には高沼用水東べり、西べりが流れていて、自然環境にある程度恵まれていると言える。用水では魚やザリガニ、四季折々の草花に集まる白鷺やカワセミなどの姿が見られる。また、学校内には、飼育小屋のニワトリや、「鈴谷池」と呼ばれる池にいる亀や鯉、メダカなどの他、昇降口にある90センチメートルの水槽の中にいる熱帯魚など、多くの生き物がいる。児童は用水で魚やザリガニを釣ったり、校内で生き物の様子を観察したりする姿が見られる。

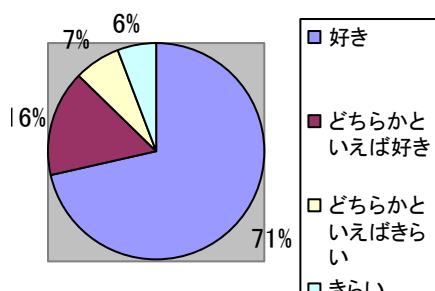
児童はこれまでに第1学年の生活科で、中央公園に行って虫取りをしたり、東武動物公園に行って、ヒヨコやモルモットなどの動物たちとふれあったりする経験をしている。

一方で、本学年の児童の半数近くはマンションなどの集合住宅に住んでおり、自然や生き物と触れ合う機会は少ないと考えられる。そこで、本単元に入る前に、児童に生き物についてのアンケート調査を行った。アンケートの集計結果は以下の通りである。

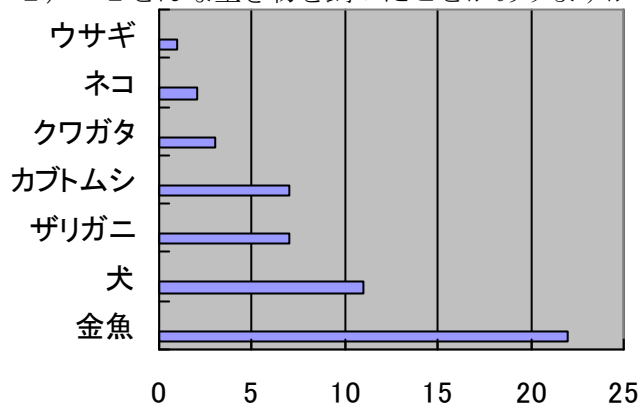
- 1) あなたは生き物（動物）が好きですか。 2) —1 あなたは生き物を飼ったことがありますか。



- 3) あなたは動物をさわることが好きですか。



- 2) —2 どんな生き物を飼ったことがありますか



これらの結果を見ると、生き物を飼ったことのある児童は7割近くいるが、そのうち飼育したことがあるのは、金魚などの魚やザリガニ、カブトムシやクワガタなどの昆虫が多く、体温を感じられる生き物を飼ったことのある児童は2割弱と少なかった。犬や猫などの体温を感じられる生き物を飼ったことのある児童も1割近くいた。また、『生き物が好き』と答えた児童の割合は9割近くとなったことから、生き物に対する関心の高さが伺える。好きな理由として、「かわいいから」「さわるとふわふわして気持ちいいから」等を挙げている。一方で、「噛まれると痛いから」「さわるのがこわいから」の理由から、『生き物が嫌い』と答えた児童も1割程いた。このことから、接した経験や外見、見た目による想像等の理由から、苦手意識を持つ児童もいることが分かる。

(2) 指導観

本単元は、学習指導要領の目標(2)「自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。」(4)「身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。」および、内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」との関連に基づいて設定したものである。

長期にわたる飼育では、児童の感性が揺さぶられるような場面が数多く生まれてくる。継続的に世話をし、繰り返しかかわる過程で、「もっと元気に育ってほしい」「もっと上手に育てたい」という願いをもつ。その願いを実現させるために、生育環境や接し方に目を向けるようになる。関心をもって動物にかかわると、成長や変化、自分のかかわり方などの多くの気づきが生まれる。そして、生命あるものを大切にし、生命の尊さを実感することにつながっていく。

この単元を通して、生き物を飼育することで、生き物に対する愛着をもち、生命の尊さを実感させたい。そのために、まずモルモットとの出会いを工夫する。出会いの場面では、獣医師の協力のもと、モルモットの心音を聞く活動や、モルモットの身体に実際にふれる活動を通して、鼓動や体温、生き物は私たち人間と同様に生きているという実感を五感を使って感じ取らせ、生命に対する気づきの質を高めたい。また、児童の生き物に対する思いや願いを具体化し、その思いを広げたい。日々の飼育活動はもちろん、夏休みや冬休みなどの長期休みにも飼育を続けることで、命には休みがないことを実感させたい。また、飼育を通して、自分本位の見方・考え方から動物の立場に立った見方・考え方ができるよう、気づきの質も高めていきたい。

なお、動物の飼育に当たっては、衛生管理や環境などについて十分に配慮する必要がある。獣医師と連携を密にすることで、よりよい環境を整えていきたい。

3 研究の柱に迫る手立て

(1) 自他の命を大切にすることを育む

手立て

- モルモットの世話を通して、多くの児童が直接触れる場面を確保することで、生命があることを実感できるようにする。

(2) 相手の気持ちを分かろうとし、相手のために行動しようとする心を育む

手立て

○年間を通して学級で飼育し、動物の様子や変化を把握できる環境を整えることで、動物の思いを想像したり感じ取ったりしながら世話ができるようにする。

(3) 最後までやりぬこうとする心を育む

手立て

○飼育するために必要な事柄を正しく理解させるとともに、学級ごとに輪番制で世話させることで、責任をもって役割を果たす必要性を感じることができるようになる。

4 単元の目標と評価規準

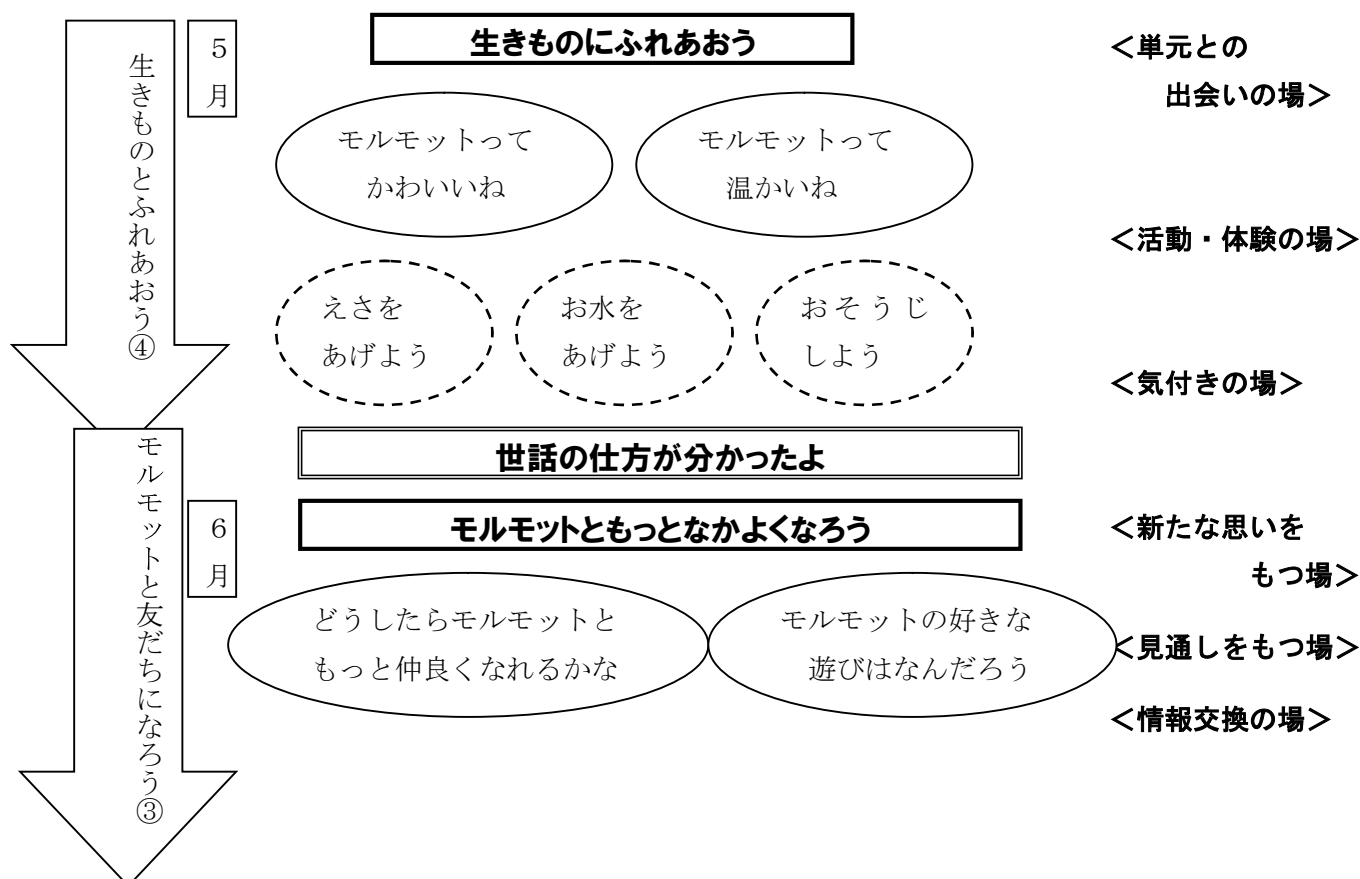
<目標>

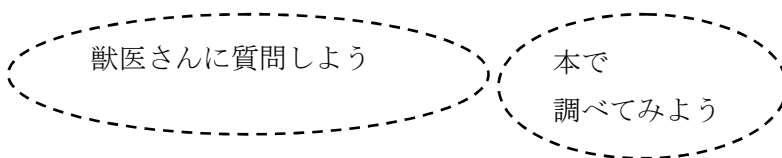
- ◎ 生き物の飼育を通して、生き物の生態や成長の様子などに気付き、生き物に親しみをもつとともに、生き物も私たち人間と同じように生きていることに気付き、生命を大切にすることができるようにする。

<評価規準>

- 生き物の変化や成長の様子に関心を持ち、親しんだり大切にしようとしていたりしている。
(生活への関心・意欲・態度)
- 季節の変化などに応じて、工夫して生き物を飼うとともに、世話をしたことや生き物の様子などについて表現することができる。
(活動や体験についての思考・表現)
- 生き物も私たち人間と同じように生きていることや成長していること、生き物の世話の仕方などに気付いている。
(身近な環境や自分についての気付き)

5 児童の意識の流れ





<振り返りの場>

<気付きの場>

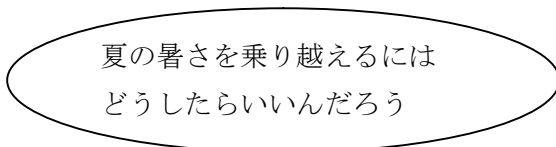
<新たな思いを
もつ場>

モルモットとなかよくなれたよ

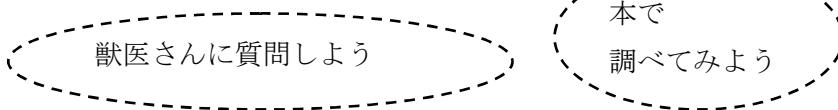
7月

夏休みのせわについて
考えよう①

夏休みの世話について考えよう



<情報交換の場>

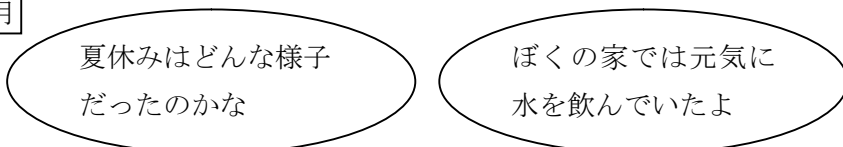


夏休みの世話はこれで安心だね

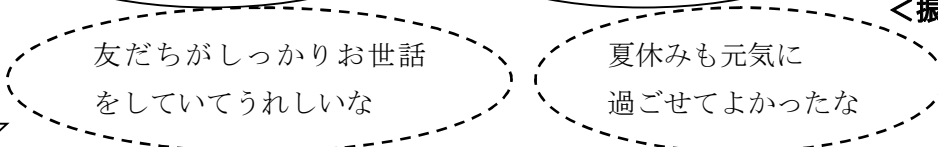
9月

夏休みのかつどうを
ほうこくしよう①

夏休み中のモルモットの様子を知ろう



<情報交換の場>



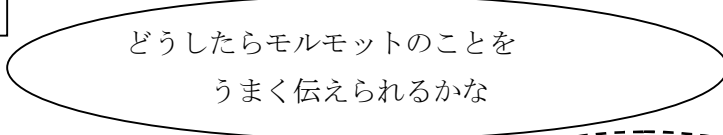
<振り返りの場>

夏休み中の様子が分かったよ

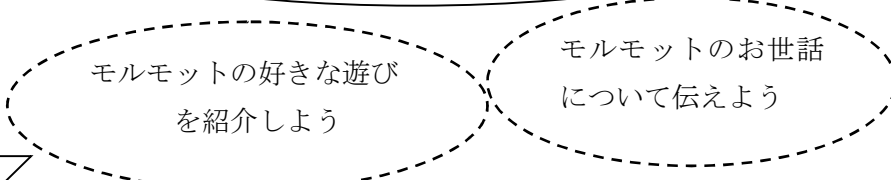
10月

モルモットをぜんこうの
みんなにしようかいしよう⑤

モルモットをぜんこうのみんなにしようかいしよう



<活動・体験の場>



<振り返りの場>

<気付きの場>

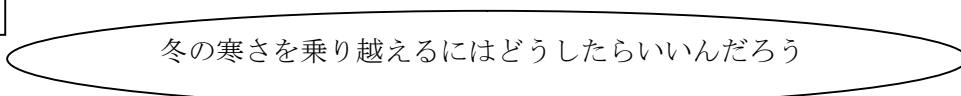
<新たな思いを
もつ場>

ぜんこうのみんなにしようかいできたね

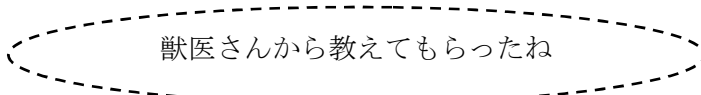
11月

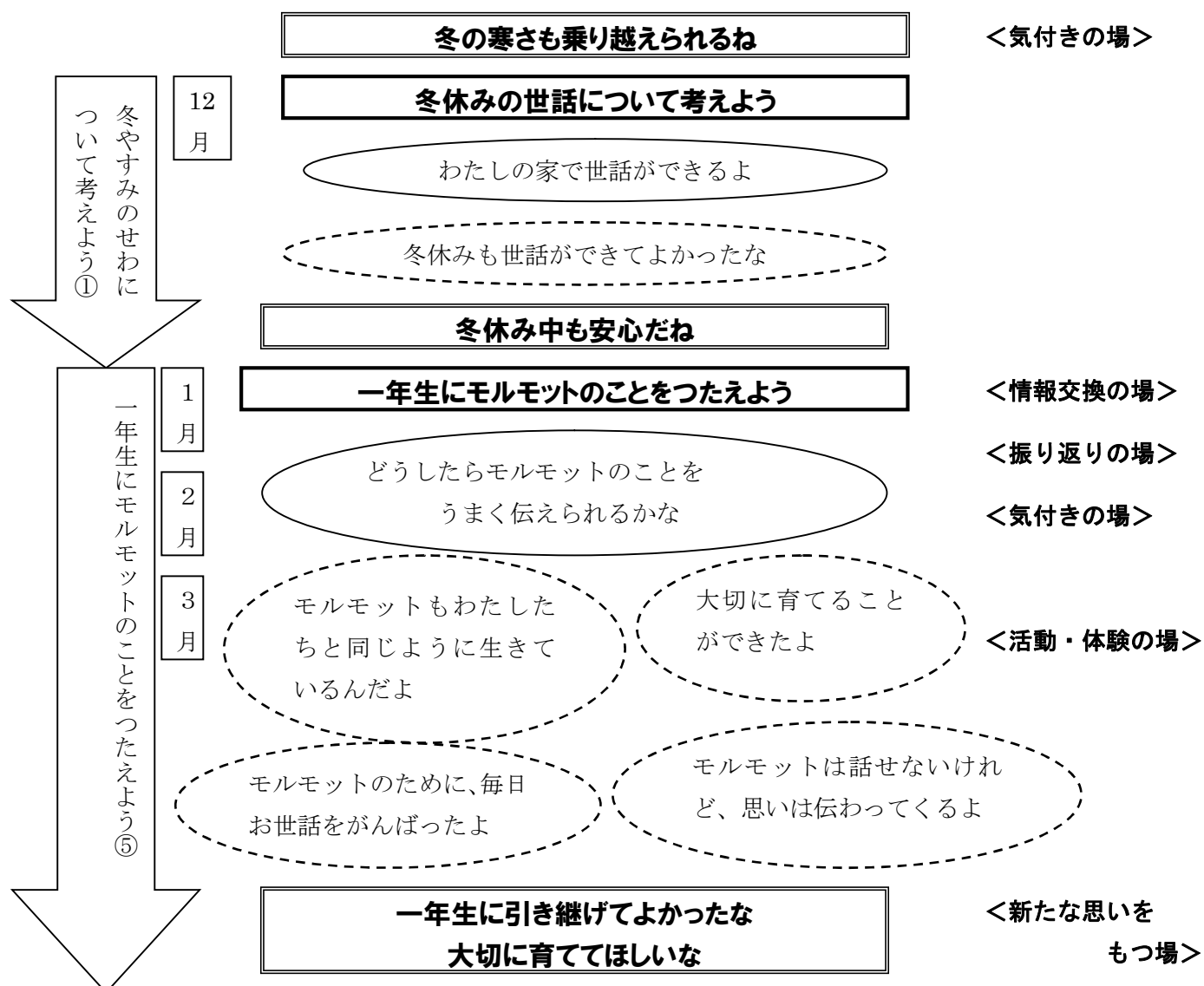
冬をむかえる
じゅんぴをしよう②

冬をむかえるじゅんぴをしよう



<活動・体験の場>





6 指導計画・評価計画

小単元名（時数） ◎ねらい 学習活動	評価計画	
	小単元の評価規準	見とりの視点
1 生きものと ふれあおう（4時間） ◎モルモットに関心をもち、親しむことができる。 ◎観察を通して動物を知り、身体の特徴を発見することができる。 1 今までの生活科での生き物とのかかわりを想起する。 2 モルモットの身体を想像し、絵に描く。 3 モルモットに出会い、心音	関心・意欲・態度 ○生き物に進んでかかわろうとしている。	・今までの生活科の活動を振り返り、生き物とのふれあいの経験を、進んで見つけようとしている。 ・モルモットの身体の詳しいところまでイメージし、描いている。 ・モルモットに積極的にふれようとしている。

を聞き、身体にふれる。(本時) 4生き物の世話をし、(観察した生き物の特徴や成長の様子、世話したことなどをカードに絵と言葉で記録する。常時活動へ)	思考・判断	○生き物を観察して、分かったことや気付いたことを進んで発表することができる。	・実物のモルモットと自分のイメージと比較して、その違いや新たな発見をカードなどに表現している。 ・絵やカードに表現したことをカードに進んで記録している。
	気付き	○生き物の特徴や様子に気づいている。	・モルモットの特徴に気づき、カードになどに表している。
2 モルモットと 友だちになろう (3時間) ◎世話をしている中で出てきた疑問を見つけ、その疑問について獣医師から話を聞き、話を生かして世話ができる。 ◎獣医師の話を生かして、モルモットが暮らしやすいように友だちと協力して工夫して世話をしたり、進んでかかわったり観察したりできる。 1モルモットの世話をしている、困ったことや、疑問に思ったこと、工夫したいことを話し合う。 2疑問点をまとめ、調べる。 4獣医師の話を聞く。 5獣医師の話から、モルモットが暮らしやすい環境について、話し合う。 6話し合ったことをもとに世話をする。	関心・意欲・態度	○飼育する生き物のすみかづくりや世話に、進んで取り組もうとしている。 ○生き物に親しみや愛着をもってかかわったり、生き物の身になって世話をしたりしようとしている。	・モルモットがより暮らしやすくなるにはどうしたらよいか積極的に考えている。 ・今までの世話の様子など、友だちと相談して考えている。 ・教わったことを手がかりに考えている。
	思考・判断	○世話を通して、よりよい世話をするにはどうしたらよいかを考えることができる。 ○生き物の様子を見ながら、適切な世話をし、育てることができる。	・モルモットの様子を観察し、適切な世話をしている。
	気付き	○生き物には、それぞれに合ったすみかやえさ、世話の仕方があることに気付いている。 ○生き物の特徴や成長の様子、生き物とかかわることの楽しさに気付いている。	・モルモットにとって暮らしやすいすみかがあることに気付いている。
3 夏休みの せわについて考えよう (1時間) ◎命の大切さを感じ、夏の暑さから守る工夫ができる。 1夏休みの世話について考え、話し合う。	関心・意欲・態度	○夏の暑さから生き物を守る方法を進んで調べている。	・夏の暑さからモルモットを守る方法を考え、発表している。

	思考・判断	○生き物と関わる楽しさや生命を預かる責任を実感し、生命を大切にしようと考えることができる。	・長期休みにも世話を続けなければならないことを考えている。
	気付き	○夏の暑さから生き物を守る方法に気付いている。	・夏の暑さから生き物を守る方法を理解している。
4 夏休みの かつどうの ほうこくをしよう (1時間) ◎夏休みの間のモルモットの様子を報告し、知ることができる。 1 自分の活動とともに、友達の活動のよさも振り返る。	関心・意欲・態度	○関心をもって友だちの活動報告を聞き、関わろうとしている。	・長期休みのモルモットの様子を知ろうと意欲を持って、報告を聞いている。 ・夏休み中のモルモットの様子を分かりやすく伝えようとしている。
	思考・判断	○友だちの活動のよさに気付き、飼育活動に生かすことができる。	・夏休みの様子から、今後の世話の方法を考えている。
	気付き	○友だちの活動のよさに気付いている。	・友だちの世話の仕方のよさを理解している。
5 モルモットを ぜんこうのみんなに しょうかいしよう (5時間) ◎飼育活動を振り返り、モルモットについて、テレビ放送を通じて、全校児童に紹介することができる。 1 今までの飼育活動を振り返り、気付いたことや感じたことなどを話し合う。 2 どのようにモルモットを紹介するか、考える。 3 ビデオを作成し、全校に紹介する。	関心・意欲・態度	○記録したカードなどを手がかりに、成長の様子を振り返り、進んで表現しようとしている。	・今までの記録カードから、モルモットの成長を振り返り、紹介したい内容を選ぼうとしている。
	思考・判断	○気付いたこと感じたこと考えたことなどを、育てた生き物にふさわしい方法で表現できる。	・テレビ放送で伝えることができる内容を考え、表現しようとしている。

	気付き	○生き物も自分と同じように生命をもち、成長・変化していることに気付いている	・今までの観察や世話を通して、モルモットの変化に気付いている。
6 冬を むかえる じゅん びを しよう (2時間) ◎寒さなどの季節の変化に気付き、寒さから弱い動物を守る工夫ができる。 1 寒さから身を守る方法を調べる。 2 調べたことを発表し、冬に向けての準備をする。	関心・意欲・態度	○冬の寒さから生き物を守る方法を進んで調べている。	・冬の寒さから生き物を守る方法を進んで調べ、発表している。
	思考・判断	○飼っている生き物の種類や成長、季節に応じた世話を考えたり、調べたりできる。	・冬の寒さから生き物を守る方法を調べ、工夫できる。
	気付き	○冬の寒さから生き物を守る方法に気付いている。	・冬の寒さから生き物を守る方法を理解している。
7 冬休みの せわについて 考えよう (1時間) 1 冬休みの世話について考え、話し合う。	関心・意欲・態度	○長期休みにも生き物を大切にしようとしている	・長期休みの世話について、進んで考えようとしている。
	思考・判断	○生き物と関わる楽しさや生命を預かる責任を実感し、生命を大切にしようと思えることができる。	・長期休みにも世話を続けなければならないことを考えている。
	気付き	○長期休みの世話の大切さに気付いている。	・継続して世話をする大切さに気付いている。

8 一年生に モルモットの ことを つたえよう (5時間) ◎一年間の活動を振り返り、一年生に伝えることができる。 ◎一ヶ月間、一年生と一緒に世話をして、飼育方法や思いや願いについて伝えることができる。 1 生き物とのかかわりを通して気付いたことや感じたこと考えたことなどを、自分なりの方法で表現する。 2 次年度の学年に渡すために、伝えたいことについて調べたり、まとめる作業をしていく。 3 新2年生に引き継ぐ。 4 動物へ手紙を書く。	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	○記録したカードなどを手がかりに、成長の様子を振り返り、進んで表現しようとしている。 ○生き物と関わる楽しさや生命を預かる責任を伝えるために、責任をもって生命にかかわり続けようとしている。	・一年生に伝えるために、進んで内容と方法を決め、活動している。 ・一年生に分かりやすいように話し方を工夫している。 ・伝えたいことを観察カードや日誌から選んでいる。
	思 考 ・ 判 断	○生き物の飼育や観察を通して気付いたことや分かったこと、考えたことなどを工夫して表現できる	・一年生の気持ちを考えながら、分かりやすく伝える工夫をしている。
	気 付 き	○生き物も自分と同じように生命をもち、成長・変化していることに気付いている。	・一年間を通しての世話の経験から、命の大切さに気付いている。

7 本時の学習指導（2/23時間）

（1）目標

- ・モルモットに親しみを感じ、意欲的にふれあおうとする。
- ・モルモットにふれることで、人間と同様に生きていることに気付く。

（2）評価規準

- モルモットに親しみを感じ、意欲的にふれあおうとしている。

（生活への関心・意欲・態度）

- モルモットの心音を聞いたり、実際にふれたりすることで、私たち人間と同じように生命をもっていることに気付いている。

（身近な環境や自分についての気付き）

（3）展開

時 間	主な学習活動・内容	支援（○）・留意点（※）・評価（☆）
3分	1 前時の確認をする。 2 本時のめあてを確認する。	○前時に描いたモルモットの絵を掲示し、意欲をもたせる。
5分	モルモットのことをしよう ・獣医師の仕事について知る。 4 獣医師の話を聞く。 ・動物への接し方について知る。	○ゲストティーチャーである獣医師を紹介する。 ○話の聞き方について事前に指導しておく。

5分	5 モルモットの体について知る. ・心音を聞く. ・モルモットと人間の心音を比較する. どきどきしているのがわかるよ. どきどきってなあに. どきどきは心臓の音なんだね. 私たちと一緒にだね. 	○前時に描いたモルモットの絵を掲示し、本物のモルモットと比較できるようにする. ○心音が大きな音で聞こえるよう、マイク付きの心音計を用意する. ○心臓は休みなく動いていることを知らせる.
3分	6 モルモットのふれあい方を知る. ・モルモットの抱き方について、獣医師から説明を受ける.	○正座をして、膝の上にバスタオルをひき、その上で動物を抱かせる.
12分	7 各クラスに分かれて、モルモットとふれあう. モルモットってあたたかいね. モルモットっておとなしいんだね.  	※モルモットが苦手な児童には、抵抗感を少なくするよう、タオルを通して抱けるようにする. ○OHCを利用し、常時モルモットの様子がわかるようにする.
10分	8 モルモットについて、聞きたいこと、知りたいことを獣医師に質問する. 心臓がドキドキして、体があったかったよ. ぼくたちと一緒に、生きていることがわかったよ. これから大切に育てなきゃいけないね. 	○万が一、児童がけがをした時に備えて、救急用具を用意しておく. ☆モルモットに親しみを感じ、意欲的にふれあおうとしている。(行動観察) 【生活への関心・意欲・態度】 ☆モルモットの心音を聞いたり、実際にふれることで、私たち人間と同じように生命をもっていることに気付いている. (発 言 ・ 行 動 観 察) 【気付き】
5分 2分	9 感想を発表する. 10 獣医師にお礼を言う.	○モルモットも人間も心臓が休みなく動いていて、同じように生きているということに気づいた児童には、さらにモルモットに対してどんなことをしてあげたいかを考えるよう助言する. ○質問することにより、児童のモルモットに対する興味を高める. ○思ったことや感じたことを発表できるようにし、気付きを表現できるようにする. ○獣医師に感謝の気持ちを込めて、あいさつできるようにする.

<場の設定>

全体での活動

ホワイトボード

机

テレビ

児童

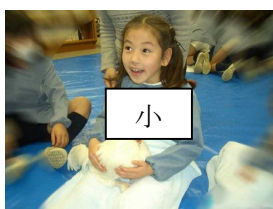
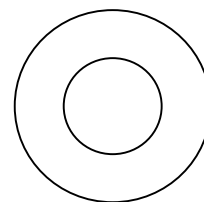
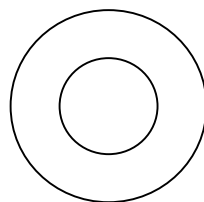
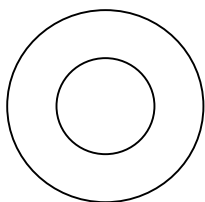
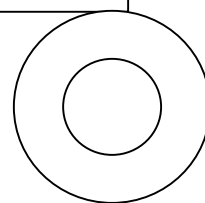
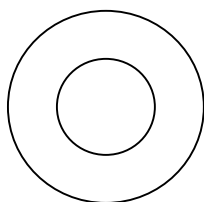
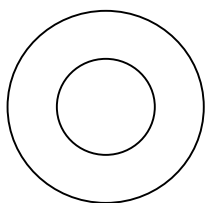
保護者

モルモットとふれあう時には、
児童12人ずつで円を作る。
(全部で6グループ)

ホワイトボード

机

テレビ



小